

【農業の環境負荷低減技術講座】

コースの特徴	講義は座学中心で進め、農業の環境負荷低減技術に関する知識の習得を目指します。
対象者	県内在住の農業者、または農業の環境負荷低減に関心がある方
内容等	土づくり技術、有機質資材の活用方法や化学肥料を減らす技術、化学農薬を減らす技術などについて学びます。
募集期間	令和6年4月1日（月）～5月31日（金）
開講時期	令和6年6月～10月 【全12回】 月2～3回、月曜日（講師の都合で曜日を変更することがあります。）
開催場所	農林水産総合技術支援センター講義室ほか
定員	20名
受講料	7,440円
受講申込みの方法	綴じ込みまたは「農大ホームページ（ https://www.tonodai.ac.jp/ ）」の受講申込み書にご記入の上、農大まで郵送してください。
その他	受講料とは別に、教科書代、教材費が必要な場合があります。 営農基礎講座との同時申込・受講はできません。

科 目		内 容
1	みどりの食料システム法の認定制度について	みどりの食料システム法に基づく認定制度について
2	特別栽培・有機栽培の制度について	特別栽培・有機栽培の認定の内容や申請方法について
3	病虫害防除の基礎	病虫害防除の基礎知識について
4	化学農薬低減技術	化学農薬の使用を低減するための技術について（天敵利用、IPMなど）
5	土壌肥料の基礎	土壌肥料の基礎知識について
6	土作りと有機質資材について	土作り技術と各種有機質資材の特性について
7	演習（土壌分析）	土壌分析と施肥設計について
8	実践研修	有機農法の実践者等の体験談など
9	環境負荷低減等を目指した土壌・施肥管理	環境負荷低減等を目指した土壌・施肥管理技術について
10	主要作物別の環境負荷低減技術	主要作物別の環境負荷低減技術について

農業の環境負荷低減技術講座 受講申込書

申込 令和 年 月 日

フリガナ		性別(注)
氏名		
住所	〒 -	
生年月日	昭和・平成 年 月 日生 (歳)	
電話	() -	
日中の連絡先 (携帯電話など)	() -	
E-mail		

以下は書類選考の参考としますので、必ずお答えください。

1. 申し込み時点での農業に関する状況について、該当する番号を○で囲んでください。	
①	既に就農している(専業) (年前から)
②	他の仕事をしながら農業もしている(兼業) (年前から)
③	今は就農していないが就農する予定である (年 月頃から)
④	その他 ()
2. 現在、耕作可能な農地面積はどのくらいありますか。	
現在栽培している農地 (a)、休耕等で栽培していない農地 (a)、 現在貸しているが返却予定のある農地 (a)、その他 (a)	
3. 現在作物を作っている人は、その栽培品目と栽培面積を記入してください。	
作物名 () (a)、作物名 () (a)	
作物名 () (a)、作物名 () (a)	
4. 当講座に期待されていることは何ですか。	
5. 今後の農業経営について、栽培品目、栽培面積、販売額見込み、将来の構想などについて記入してください。 (記入欄が足りない場合は裏面もご使用ください。)	
※これまでの受講歴の有・無を記入してください。(公開講座、農業機械安全使用者養成講座を除く)	
・ない ・ある (年度 講座名)	

(注) 答えたくない方は記入不要です。なお、更衣室等の都合のため別途聞きとりする場合があります。この申込書は就農支援のために利用するもので他の目的で利用することはありません。徳島県立農林水産総合技術支援センター内で共有化し受講後のフォローアップに役立てるため利用する場合があります。